



ISSN 2189-3861

Makino

牧野植物同好会会誌

122号

研究会の案内

4月(1)第797回	研究会	室内会(総会と講演会)	2	
4月(2)第801回	野外研究会	南足柄 最乗寺(道了尊)周辺	2	
5月(1)第802回	野外研究会	野川公園	2	
5月(2)第803回	野外研究会	房総 軍荼利山の植物	3	
6月	第804回	野外研究会	見沼田んぼ 大和田緑地公園	3
7月	第805回	野外研究会	尾瀬湿原 夏の豊かな植生を観察	3
8月	第806回	研究会	室内研修会	3

森の樹木 構成種と更新・分布、生態学的特色 第18回

図鑑に載っていない裸子植物(2) グネツム属	谷本丈夫	4
------------------------	------	---

帰化植物あれこれ(68)

名前の由来をめぐって [1]	浅井康宏	5
----------------	------	---

牧野富太郎先生の採集品(48)

トキイロクズ <i>Pueraria lobata</i> f. <i>alborosea</i> (マメ科)	加藤億重	6
---	------	---

植物雑記(123) 樹木の楽しみ [10]

南西諸島の植物 [6] ノボタン科 Fam. Melastomataceae ノボタン属 Gen. <i>Melastoma</i>	長谷川義人	7
--	-------	---

牧野ワールドを巡る 第28回

向坂道治宛牧野富太郎筆書簡—東京植物同好会に関して	田中純子	9
---------------------------	------	---

日本にあるハンカチノキの由来と核の話(センダンの核と比較してみた)	内田典子	10
-----------------------------------	------	----

落合邦和さんを偲ぶ	坂本アヤ子	11
-----------	-------	----

樹齢400年以上 シイの木の運命(スダジイ)	坂本アヤ子	12
------------------------	-------	----

書評『牧野富太郎博士のシダ論文とその標本』	磯部和久	12
-----------------------	------	----

研究会の記録

9月 第793回	小金井公園	梶田道行	13
----------	-------	------	----

10月 第794回	谷川岳山麓の紅葉(森の観察シリーズ10)	森 弦一	14
-----------	----------------------	------	----

11月 第795回	高尾山のシダ	手塚武博	15
-----------	--------	------	----

情報ネット(展示会案内、事務局お知らせ等)		16
-----------------------	--	----

題字・イラスト
牧野 富太郎

2022年4月

Makino: Bulletin of the Makino Botanical Club, No. 122, April 2022

研究会の案内

レクリエーション保険について

野外研用に（バス研はそのつど別途加入）、日新火災海上保険（株）傷害保険に加入しています。ケガで通院は1500円/日、入院は3000円/日。発生後180日以内（65歳以上は30日）までが対象。死亡、後遺症等は300万円まで。

【参加ご希望の方は必ずお読みください】

- 1 野外研究会は通常午後にはわたりますので、弁当や飲料をご持参ください。
- 2 ルーベやカメラ、図鑑類、メモ帳、ものさし、会員バッジ（会員のみ）、くすり、健康保険証などご用意ください。
- 3 安全性のある観察に適した靴と服装（帽子着用）でご参加ください。必要に応じ、雨具、レインスパッツ、手袋、長靴などもご準備ください。
- 4 **参加費**（別途例外を除き500円/非会員1000円/学生は一律200円）は講師謝礼・資料代・保険料に関わる費用です。非会員の方の参加費は2016年3月6日運営会議で改定されました。別途入園料などが必要な場合もあります。
- 5 **会員**は、できるだけホームページから申し込んでください。

4月(1) 第797回 研究会

室内会（総会と講演会）

日時 2022年4月24日（日）10:00 受付（10:00 開場）
会場 新宿歴史博物館講堂（2階）（案内図参照）
 新宿区四谷三栄町12-16 / Tel 03-3359-2131
 東京メトロ丸の内線「四谷三丁目」下車（出口4番）、徒歩8分、ほか。



参加費 会員・非会員とも1000円（学生200円）
その他 弁当など持参の場合は会場で召し上がられます。

◆総会 10:20-12:00（出席は会員のみ）

議事 2021年度事業報告・会計報告・監査報告
 2022年度事業計画案・予算案・その他
 役員改選（2022～2023年度）

意見交換会（議事終了後）（休憩12:00-13:00）

◆講演会 13:00-16:30

講師と講演テーマ

田中 肇（本会顧問）：**私の花生態学60年** 1959年に花の生態の興味深さを知り、翌1960年春から野外調査をはじめた。その後60年余にわたり様々な視点から花を見つめ多数の短報や論文と10冊余の著書を出してきた。大学での専門教育を受けずにこうした活動ができたのは、一つは20世紀初頭から半世紀、世界的に花生態学が衰退していたため、日本にこの分野の研究者が出なかったという背景のもとに、私が花生態学に出合えたという幸運があったからである。今回はこうした時代背景と、私の研究とを対比させながら話を進める。

谷本丈夫（本会会長）：**尾瀬ヶ原の生い立ちと地形、湿原植物の役割** 尾瀬ヶ原は本州最大の高層湿原とされています。高層湿原には天水（降雨）によってのみ生育できるミズゴケ類を中心とした植物群が生育しています。また、ヨシは浅い沼地や河岸段丘のみずきわなど弱い流れや地下水に依存して生

育し、低層湿原を形成しています。尾瀬ヶ原にはミズゴケの生育地は少なく、ヨシの生育している場所が多く見られます。高層湿原の尾瀬ヶ原に何故、低層湿原のヨシが生育できるのか？尾瀬ヶ原の泥炭層を深さ6mまで採取し、その生い立ちと湿原植物の住み分けの謎に迫ります。

問合先 03-3355-3832（坂本）

当日の連絡先 090-3224-8584（坂本）

4月(2) 第801回 野外研究会

南足柄 最乗寺（道了尊）周辺

地元では道了尊と呼ばれ親しまれている大雄山最乗寺は曹洞宗のお寺で、六百年以上前に創建され、自然豊かな広い境内が魅力です。日本で日本人により初めて学術的に発表された日本固有種ヤマトグサをはじめ、春の草木を観察します。

（係：松田敬子・森弦一）

期日 4月28日（木）雨天中止

集合 JR小田原駅から大雄山線 大雄山駅前 10時

コース 駅よりバス→終点道了尊下車/最乗寺境内周辺の植物を観察し、道了尊でバスに乗車、大雄山駅へ。

講師 松岡輝宏氏（日本シダの会、小田原の植物研究会、他）

案内 森弦一（本会会員）

当日の連絡先 090-2462-8872（森）

5月(1) 第802回 野外研究会

野川公園

水辺まで自由に入れる野川の周辺と、保護地区の自然観察園で草花の生態や形態を中心に観察します。

（係：岡崎恵視・坂本アヤ子）

期日 5月22日（日）雨天中止

集合 JR武蔵小金井駅 中央改札（南） 9時50分

コース 京王バス乗り場から乗車→二枚橋下車…野草や樹木を観察しながら野川に沿って移動…自然観察園へ

講師 大石征夫氏（本会会員）

当日の連絡先 090-3224-8584（坂本）

5月(2) 第803回 野外研究会

房総^{ぐん だ り} 軍荼利山の植物

準絶滅危惧 (NT) のハイハマボッサが見頃です。分布は主として北海道南部と本州の日本海側ですが千葉県にも自生があります。そのほかフウトウカズラ・キジョラン・アリドオシ・イズセンリョウ・カゴノキ・サカキカズラ・タブノキ (オオバヤドリギが寄生)・リンボクをはじめ、シダ植物のハチジョウカグマ・カツモウイノデ・クリハラン・オオバノアマクサシダ・ハチジョウベニシダ、そしてスゲ属植物も何種類か見られます。

(係: 土屋喜久夫・岩崎敏子)

期 日 5月29日 (日) 雨天中止

集 合 JR 外房線 東浪見駅 改札前 10時40分

(交通) 東京駅 9:02 発→上総一ノ宮駅 10:29 着 同駅
10:32 発→東浪見駅 10:35 着 / (帰途) 東浪見駅 14:
34 発→東京駅 16:00 着 (上総一ノ宮駅で乗換えあり)

コース 東浪見駅…軍荼利山…東浪見寺…東浪見駅

講 師 倉俣 武男 氏 (日本シダの会 関東ブロック幹事)

当日の連絡先 03-6904-2963 (岩崎)・080-9215-4495 (岩崎)

.....

6月 第804回 野外研究会

見沼田んぼ 大和田緑地公園

見沼田んぼは東京から 20 ~ 30km 圏に位置する大規模緑地空間です。大和田緑地公園はその北部、芝川に面した斜面林です。園内には絶滅危惧種に指定されているキンラン、ギンランなどが自生しています。(係: 坂本アヤ子・青羽美津子)

期 日 6月5日 (日) 雨天中止

集 合 JR 大宮駅 中央改札口 10時

コース 大宮駅東口⑧番乗り場 東武バス宮下行乗車→大和田下車…大和田緑地公園

講 師 谷本 丈夫 氏 (本会会長)

当日の連絡先 090-5415-6553 (青羽)

.....

7月 第805回 宿泊野外研究会 (一泊二日)

尾瀬湿原 夏の豊かな植生を観察

尾瀬はミズゴケで構成された高層湿原とされていますが、低層湿原も見られます。異なった湿原の成立の様子を地形や気象条件との関連から観察し、その地形に対応して生育するナガバノモウセンゴケなど夏の湿原植物を楽しみます。今回の鳩待峠は一番楽なコースです。(係: 松田敬子・坂本アヤ子)

期 日 7月25日 (月) ~ 26日 (火) / 募 集 14名

集 合 西新宿駅前 モード学園ビル前 8時出発

コース 一日目 西新宿駅前コース→群馬県戸倉→鳩待峠バス着。小型バスなので直行。鳩待峠から尾瀬ヶ原に入ります。→竜宮小屋に宿泊 / 二日目 竜宮小屋発 8時→尾瀬内観察→鳩待峠バス (1時30分頃発)

→新宿到着 18時頃

旅 費 凡そ 33,000 円 (バス代・宿泊費・保険・参加費
その他) *非会員 34,000 円 / 二日目は弁当を用意
しますが、一日目は各自で用意願います。

講 師 谷本 丈夫 氏 (本会会長)

申込先 ホームページ、または電話で坂本アヤ子へ (03-3355-3832)、受付期間は 4月16日 (ホームページは 17日以降) ~ 5月末日、受付時間は 9時~13時の間 (詳しくは電話でお問合せください)。

当日の連絡先 090-3224-8584 (坂本)

.....

8月 第806回 研究会

室内研修会

野外研究会等で役立つ、植物の基礎知識習得のための研究会です。特別講師による講演、本会会員の研究活動などが紹介されます。非会員の方も歓迎します。

(係: 坂本アヤ子・松田敬子・岡崎恵視)

期 日 8月下旬 (26日~28日のいずれかを予定。決まり次第ホームページ及び次号会誌でお知らせします)

会 場 新宿歴史博物館講堂 (2階) (前頁案内図参照)

参加費 1500 円 (学生 300 円) *非会員も同額

その他 弁当など持参の場合は会場で召し上がれます。

講師と講演テーマ

(1) 武田幸作 (東京学芸大学名誉教授) 花を彩る植物色素 :
花の青色発現の仕組みについて—ヤグルマギク、ツユクサ、ヒスイカズラの青、アジサイの色変化、青いバラなど。

岡崎恵視 (東京学芸大学名誉教授・本会員) ノアサガオ、スイフヨウの1日の花色変化とその仕組み

(2) 高栄 博 (神奈川県シダ植物代表) 石灰岩地帯に生息するシダ植物

(3) 瀬尾克美 (全国森林インストラクター神奈川会副会長) 小学生を対象にした野外の植物観察・草笛の指導について

問合先 03-3355-3832 (坂本)

当日の連絡先 090-3224-8584 (坂本)

研究会の実施について

新型コロナウイルス感染状況によっては実施を見合わせることもあります。ホームページを適宜ご覧ください。あるいは事務局まで、できるだけ電子メールでお問合せください。★実施の場合、当面、マスク着用、互いの距離を保ち、必要以上の会話はお控えください。なお、当日発熱等の症状が見られた場合は、参加を見合わせてください。

【121号の訂正】

本誌 121 号 12 ページの左 1 行目に図 1 と示したセンダンの写真は、本会の田中肇先生のご提供によるもの (野川公園で撮影) で、小石川植物園植栽樹を撮影したものではありません。会誌編集上の手違いによる誤りで、要らぬ心配と誤解を、筆者と読者及び関係者の皆様におかけしたことをお詫びいたします。

(会誌編集担当)